

気持ちいいでしょう…？
わたしから与えられる快楽は…

…たまらない？
そうでしょ格段に心地良いでしょう？



もつとも比べようがないかしら…
経験がなかったものね

童貞だったものね

初めてがこんな極上のま○こなんて
とても幸運ね



至上の快感をたくさん味わいながら
余すこと無く
わたしに出し尽くすの

あなたは干上がるまで
私にすべて出し尽くしなさい



どうしたの？
なにか気に触ったのかしら



勢いで言ってしまった？
最初の言葉はなしにしてほしい？

…呆れるわね…



今更後悔しても遅いわ…
起こってしまったことは取り返しが
つかない…

あなたは私にすべてを捧げると…
そう契約をした



諦めなさい…
もうあなたは契約に従うしかないの

契約はそれほど重いもののなの
最初にいったはずよ
「よく考えなさい」って



私にすべてを捧げるかわりに
極上の快楽を味わえるのよ
多分これから生きていても

経験できなかった
至上の快楽を享受できる



あなたにとって悪いことではないと
思うの…

それともそんなに嫌かしら

…それは相手がわたしだから？



私だから嫌ってわけではないのなら
覚悟をきめなさい

死ぬまで気持ちいいこととしてあげるし
後悔はさせないわ



あなたのおちんちんは覚悟が
決まっているみたいよ
さっつきから全然衰えない



腰を動かし始めたってことは
覚悟は決まったみたいね
嬉しいわ…

ふふ…
至上の快楽を味わいなさい



動かし始めたばかりなのに
もういつてしまうの？

仕方ないわ私の中に
ピュッピュしなさい

我慢できるわけが
ないに決まっているわ



…どうしたの？
また不安そうな顔をして…

こんなにすぐ出してしまったら
すぐに死んでしまう？



…あなたは何を言っているの？

なぜ死ぬまで
出し続けなければいけないのかしら
理解が出来ないわ



全てを捧げると契約をしたから…？

ふふふ

貴方勘違いをしているわ

わたしは
命までは吸い取らないわ



あなたの全てを
私に捧げるのは間違いではないわ
でもそれは
あなたの寿命が尽きるまで

わたしと一緒に歩むということ
まだわからないの？
そうねあなたの世界で言う
「結婚」っていう概念に近いかしら



ふふふ…だからずっと怯えていたのね
あなたの精をもらおうといっても

命までとはいってなかったのに
なぜかしら…？



顔が怖いから…？

——傷つくわね…
いいわ…許してあげる

私もしつかりと
説明してなかったものね



ふふふ
これからよろしくね
「貴方」























